

調査票（単純集計データ）

（注）回答欄に併記された数値は、断りのない限り、回答比率（%、小数第 2 位四捨五入）を示す。回答ゼロの場合は一で示している。なお、無回答者を掲記していないこともあり、単数回答項目であっても、その回答比率の合計は必ずしも 100（%）にならない。

Q1 次の点は、あなたご自身にどの程度あてはまるか、その程度を 5 段階の中から選んでください。

（1 つずつ）【必須入力】

	1 あてはまる	2 ←	3 どちらとも いえない	4 →	5 あてはまらない
1. 何かを買う前に、それを買う余裕があるかどうか注意深く考える →	34.0 (33.8)	37.6 (36.7)	20.2 (22.0)	5.7 (5.3)	2.4 (2.3)
2. 請求書の期日に遅れずに支払いをする →	64.2 (63.5)	20.2 (21.0)	11.2 (11.3)	2.7 (2.7)	1.8 (1.5)
3. 類似する商品が複数あるとき、自分が「良い」と思ったものよりも、「これが一番売れています」と勧められたものを買うことが多い →	4.0 (3.7)	12.8 (11.3)	42.0 (43.4)	22.4 (22.9)	19.0 (18.7)
4. お金を貯めたり使ったりすることについて、長期の計画を立て、それを達成するよう努力する →	17.1 (17.6)	30.9 (29.9)	34.0 (36.0)	11.7 (11.0)	6.4 (5.6)
5. 先行きのためにお金を貯めるより、今お金を使う方が満足感が高いと思う →	7.0 (5.8)	18.1 (16.7)	39.9 (41.3)	20.6 (21.2)	14.4 (15.1)
6. その日暮らして明日のことは明日また考えればよいと考えがちである →	4.1 (3.9)	13.5 (13.2)	27.0 (28.3)	25.2 (25.6)	30.3 (28.9)
7. 自分のお金の運用や管理について、十分注意している →	21.6 (22.5)	34.7 (34.9)	30.3 (30.4)	9.5 (8.8)	3.9 (3.3)
8. お金を借りすぎていると感じている →	5.2 (4.4)	7.6 (7.0)	14.2 (14.8)	12.8 (13.3)	60.2 (60.6)
9. 投資や預金をするときには、お金を損することがあってもしかたがないと思う →	8.6 (8.1)	20.5 (18.9)	31.8 (32.8)	17.7 (18.3)	21.4 (22.0)
10. お金を必ずもらえるとの前提で、 (1) 今 10 万円をもらう、(2) 1 年後に 11 万円を もらう、という 2 つの選択があれば、(1) を選ぶ →	31.5 (30.8)	15.6 (16.3)	15.9 (17.8)	13.0 (12.9)	23.9 (22.2)

Q2 ご自身の資産（預金を含む）、負債の現状について、全体として満足していますか。

その程度を 5 段階の中から選んでください。（1 つだけ）【必須入力】

1 満足している	2 ←	3 どちらとも いえない	4 →	5 満足していない
7.2(7.1)	15.7(15.2)	35.4(36.9)	17.6(17.5)	24.1(23.3)

Q3 1か月の収入や支出の金額を把握していますか。(1つずつ)【必須入力】

		1	2
		把握している	把握していない
1. 1か月の収入の金額	→	87.7(87.4)	12.3(12.6)
2. 1か月の支出の金額	→	72.6(72.1)	27.4(27.9)

Q4 家計の行動に関する次の記述のうち、適切でないものはどれでしょうか。(1つだけ)【必須入力】

1. 家計簿などで、収支を管理する 12.8(12.2)
2. 本当に必要か、収入はあるかなどを考えたいうえで、支出をするかどうかを判断する 15.1(15.1)
3. 収入のうち、一定額を天引きにするなどの方法により、貯蓄を行う 6.0(6.2)
4. 支払を遅らせるため、クレジットカードの分割払を多用する 55.2(55.1)
5. わからない 10.9(11.3)

Q5 家計管理やクレジットカードに関する次の記述のうち、適切でないものはどれでしょうか。(1つだけ)【必須入力】

1. クレジットカードを自分の収入に合わせて計画的に利用する 13.7(13.3)
2. クレジットカードの未決済額は、実質的には借金である 9.3(10.1)
3. 手数料(金利)負担は、リボルビング払いでは生じるが、分割払いでは生じない 49.5(46.9)
4. 利用代金を支払わないと、以降のカード使用ができなくなることがある 11.4(12.1)
5. わからない 16.0(17.6)

Q6 10万円を投資すると、半々の確率で2万円の値上がり益か、1万円の値下がり損のいずれかが発生するとします。あなたなら、どうしますか。(1つだけ)【必須入力】

1. 投資する 22.7(21.4)
2. 投資しない 77.3(78.6)

Q7 次の費用のうち、あなたが今後必要になると意識しているものは、どれですか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(いくつでも)【必須入力】

1. 定年退職後の生活費 60.1(56.7)
2. 子どもの教育にかかる費用 25.6(24.7)
3. 住宅の購入費用 13.7(13.2)
4. 自分の医療・介護費用 57.8(54.6)
5. 家族の医療・介護費用 45.0(43.2)
6. 車の購入費用 29.4(27.1)
7. 自分の結婚費用 7.4(7.6)

- 8. 子どもの結婚費用 15.6(14.9)
- 9. その他 () 1.7(2.0)
- 10. 今後必要になると意識している費用はない 10.1(12.5)

Q8 今後必要になると意識している費用について、ご自分の場合の必要額を認識していますか。
(1つずつ)【必須入力】

		1	2
		認識している	認識していない
1. 定年退職後の生活費	→	47.8(49.4)	52.2(50.6)
2. 子どもの教育にかかる費用	→	55.3(56.8)	44.7(43.2)
3. 住宅の購入費用	→	54.8(55.4)	45.2(44.6)
4. 自分の医療・介護費用	→	36.7(38.3)	63.3(61.7)
5. 家族の医療・介護費用	→	33.6(35.7)	66.4(64.3)
6. 車の購入費用	→	76.1(75.9)	23.9(24.1)
7. 自分の結婚費用	→	36.8(38.4)	63.2(61.6)
8. 子どもの結婚費用	→	44.4(48.0)	55.6(52.0)
9. その他 【【Q7_9FA】の選択内容】	→	67.8(74.9)	32.2(25.1)

Q9 今後必要になると意識している費用について、資金計画をたてていますか。
(1つずつ)【必須入力】

		1	2
		いる計画をたてて	いない計画をたてて
1. 定年退職後の生活費	→	34.9(35.6)	65.1(64.4)
2. 子どもの教育にかかる費用	→	48.8(48.8)	51.2(51.2)
3. 住宅の購入費用	→	33.5(35.2)	66.5(64.8)
4. 自分の医療・介護費用	→	27.3(28.0)	72.7(72.0)
5. 家族の医療・介護費用	→	25.3(26.1)	74.7(73.9)
6. 車の購入費用	→	40.7(41.1)	59.3(58.9)
7. 自分の結婚費用	→	23.3(23.0)	76.7(77.0)
8. 子どもの結婚費用	→	23.2(25.1)	76.8(74.9)
9. その他 【【Q7_9FA】の選択内容】	→	50.6(53.1)	49.4(46.9)

Q10 今後必要になると意識している費用について、資金を確保できていますか。

(1 つずつ) 【必須入力】

		1	2
		確保 できて いる	確保 できて いない
1. 定年退職後の生活費	→	25.8(26.0)	74.2(74.0)
2. 子どもの教育にかかる費用	→	32.0(32.8)	68.0(67.2)
3. 住宅の購入費用	→	15.3(15.5)	84.7(84.5)
4. 自分の医療・介護費用	→	31.1(30.5)	68.9(69.5)
5. 家族の医療・介護費用	→	29.5(29.0)	70.5(71.0)
6. 車の購入費用	→	31.8(32.0)	68.2(68.0)
7. 自分の結婚費用	→	16.9(16.0)	83.1(84.0)
8. 子どもの結婚費用	→	20.2(21.8)	79.8(78.2)
9. その他 【【Q7_9FA】の選択内容】	→	40.7(41.5)	59.3(58.5)

Q11 病気、失業、不景気等の万が一の事態に備えて、3 か月間分の生活費を確保してありますか。

(1 つだけ) 【必須入力】

1. 確保している 54.4(54.9)
2. 確保していない 31.7(29.7)
3. わからない 13.9(15.4)

Q12 太郎と花子は同い年です。花子は25歳の時に年10万円の預金を始め、その後も毎年10万円の預金を続けました。一方、太郎は25歳の時には預金をせず、50歳の時に年20万円の預金を始めました。二人が75歳になったとき、どちらの預金残高が多いでしょうか。

(1 つだけ) 【必須入力】

1. 預け入れた金額は全く同じのため、二人の預金残高は同じである 7.4(6.3)
2. 各年の預け入れ額が多いため、太郎の預金残高の方が多い 3.6(3.5)
3. 預け入れ額が多いため、花子の預金残高の方が多い 12.5(12.6)
4. 複利で利子がつく期間が長いため、花子の預金残高の方が多い 54.1(53.2)
5. わからない 22.4(24.3)

Q13 一般に「人生の3大費用」といえば、何を指すでしょうか。(1 つだけ) 【必須入力】

1. 一生涯の生活費、子の教育費、医療費 26.0(25.4)
2. 子の教育費、住宅購入費、老後の生活費 47.4(47.6)
3. 住宅購入費、医療費、親の介護費 6.4(6.2)
4. わからない 20.2(20.7)

Q14 契約を行う際の対応として、適切でないものはどれでしょうか。(1つだけ)【必須入力】

1. 自分にとって、その契約が本当に必要なのかを、改めて考える 9.0(9.3)
2. 解約できるかどうかや、解約時に違約金が発生するかを確認する 5.1(4.8)
3. 業者から詳しく説明を聞いて契約し、契約書は後でゆっくり読む 67.7(66.2)
4. 契約締結に当たり、必要に応じて、第三者にアドバイスを求める 4.3(4.4)
5. わからない 13.9(15.3)

Q15 金融トラブルに巻き込まれないための行動として、適切でないものはどれでしょうか。(1つだけ)【必須入力】

1. 自分の個人情報をはなるべく言わない 9.8(9.3)
2. 金融経済に関する知識を身に付けるよう努力する 3.9(3.8)
3. 判断に迷ったときは、業者を信じて一任する 72.9(72.4)
4. 購入しようとする商品の評判をインターネットで確認する 3.4(3.2)
5. わからない 10.0(11.3)

Q16 インターネット取引において、適切でないものはどれでしょうか。(1つだけ)【必須入力】

1. セキュリティ対策ソフトを最新版にした 2.2(2.3)
2. メールが届いたが、心当たりのないアドレスだったので、開かなかった 4.4(4.5)
3. インターネットカフェのパソコンを使って銀行振込をした 81.5(80.2)
4. 入力事項に間違いがないか、何度も確認した 1.6(1.6)
5. わからない 10.3(11.5)

Q17 あなたの金融全般に関する知識は、他の人と比べて、どのようなレベルにあると感じていますか。(1つだけ)【必須入力】

1. とても高い 1.3(1.2)
2. どちらかといえば高い 10.8(11.3)
3. 平均的 42.0(44.8)
4. どちらかといえば低い 29.0(27.8)
5. とても低い 14.3(12.1)
6. わからない 2.6(2.8)

Q18 100 万円を年率 2%の利息がつく預金口座に預け入れました。それ以外、この口座への入金や出金がなかった場合、1 年後、口座の残高はいくらになっているでしょうか。利息にかかる税金は考慮しないでご回答ください。(1 つだけ) 【必須入力】

	万円	{	102 万円 68.6(65.7)
わからない	21.2(24.0)		102 万円以外 10.2(10.3)

Q19 では、5 年後には口座の残高はいくらになっているでしょうか。利息にかかる税金は考慮しないでご回答ください。(1 つだけ) 【必須入力】

1. 110 万円より多い 43.6(42.9)
2. ちょうど 110 万円 19.9(18.7)
3. 110 万円より少ない 11.1(11.2)
4. 上記の条件だけでは答えられない 9.9(10.7)
5. わからない 15.4(16.5)

Q20 インフレ率が 2%で、普通預金口座であなたが受け取る利息が 1%なら、1 年後にこの口座のお金を使ってどれくらいの物を購入することができますか。(1 つだけ) 【必須入力】

1. 今日以上に物が買える 4.2(3.3)
2. 今日と全く同じだけ物が買える 6.8(7.1)
3. 今日以下しか物が買えない 55.1(55.6)
4. わからない 33.9(34.1)

Q21 次の文章が正しいかどうかをご回答ください。(1 つずつ) 【必須入力】

	1	2	3
	正しい	間違っている	わからない
1. 高インフレの時には、生活に使うものやサービスの値段全般が急速に上昇する →	61.9(60.8)	7.8(7.6)	30.3(31.6)
2. 住宅ローンを組む場合、返済期間が 15 年の場合と 30 年の場合を比較すると、通常、15 年の方が月々の支払い額は多くなるが、支払う金利の総額は少なくなる →	70.3(68.4)	5.8(5.8)	23.9(25.8)
3. 平均以上の高いリターンのある投資には、平均以上の高いリスクがあるものだ →	76.7(74.8)	2.8(2.7)	20.5(22.5)
4. 1 社の株を買うことは、通常、株式投資信託 (※) を買うよりも安全な投資である ※何社かの株式に投資する金融商品 →	5.6(5.2)	47.3(45.8)	47.2(49.0)

Q22 金利が上がったら、通常、債券価格はどうなるでしょうか。(1つだけ)【必須入力】

1. 上がる 20.3(21.4)
2. 下がる 23.8(24.0)
3. 変化しない 5.0(5.1)
4. 債券価格と金利の間には何の関係もない 10.2(9.1)
5. わからない 40.7(40.4)

Q23 金利が上がっていくときに、資金の運用(預金等)、借入れについて適切な対応はどれでしょうか。(1つだけ)【必須入力】

1. 運用は固定金利、借入れは固定金利にする 5.3(5.0)
2. 運用は固定金利、借入れは変動金利にする 7.4(7.9)
3. 運用は変動金利、借入れは固定金利にする 46.0(43.9)
4. 運用は変動金利、借入れは変動金利にする 2.1(2.6)
5. わからない 39.2(40.6)

Q24 あなたは、生命保険に入っていますか。現在加入している生命保険を選ぶ際、他の生命保険と比較しましたか。(1つだけ)【必須入力】

1. 比較したうえで、生命保険に入っている 41.3(38.1)
2. 比較せず、生命保険に入っている 30.6(31.6)
3. 生命保険に入っていない 28.1(30.3)

Q25 保険の基本的な働きに関する次の記述のうち、適切なものはどれでしょうか。(1つだけ)【必須入力】

1. リスクの発生頻度は高いが、発生すると損失が大きい場合に有効である 6.6(6.1)
2. リスクの発生頻度は低いが、発生すると損失が大きい場合に有効である 49.3(46.7)
3. リスクの発生頻度は高いが、発生すると損失が小さい場合に有効である 3.4(3.1)
4. リスクの発生頻度は低いが、発生すると損失が小さい場合に有効である 6.5(6.7)
5. わからない 34.4(37.4)

Q26 子供が独立した50歳の男性が生命保険(終身保険)を見直す場合、適切なものはどれでしょうか。他の事情に変化はないものとします。(1つだけ)【必須入力】

1. 死亡保障の増額を検討する 14.1(12.7)
2. 死亡保障の減額を検討する 53.0(50.7)
3. 特に見直す必要はない 11.1(11.7)
4. わからない 21.8(24.9)

Q27 公的年金に関する次の項目のうち、知っているものはどれですか。(いくつでも)【必須入力】

1. 自分が加入している公的年金の種類 63.6(63.5)
2. 自分が第何号被保険者か 40.8(41.9)
3. 年金受給のために必要とされる加入期間 43.0(44.6)
4. 受け取れる金額 37.1(36.6)
5. 自分の年金の支給開始年齢 45.2(45.2)
6. どれも知らない 23.7(24.3)

Q28 保険に関する以下の記述のうち、適切でないものはどれでしょうか。

(1つだけ)【必須入力】

1. 学生であっても20歳以上になると国民年金保険料を納める必要がある 7.2(6.5)
2. 自動車事故を起こした場合の損害賠償は、自賠責保険により全額カバーされる 60.9(60.0)
3. 生命保険は、自分や家族の変化に合わせて必要性や保障額を見直すことが望ましい 3.6(3.3)
4. 医療保険では、加入前に発症した病気について補償されないことがある 9.3(9.1)
5. わからない 19.1(21.2)

Q29 あなたは、過去に金融機関から1か月の生活費を超える金額のお金を借りたことがありますか。最後にお金を借りた際、ご自身の状況に適したローンを選ぶために、他の金融機関あるいは他のローンと比較しましたか。(1つだけ)【必須入力】

1. 比較したうえで、借りた 12.2(11.3)
2. 比較せず、借りた 10.4(9.7)
3. 借りたことはない 77.4(79.0)

Q30 住宅ローンに関する以下の記述のうち、適切なものを選択してください。

(1つだけ)【必須入力】

1. ローンを組んで住宅を購入するよりも、生涯賃貸住宅に住み続ける方が、圧倒的に資金負担が小さい 4.5(4.3)
2. 住宅ローンの返済方法には、元利均等方式と元金均等方式があるが、総返済額はどちらも同じである 3.9(3.5)
3. 住宅ローンの金利タイプには変動金利型や固定金利型があるが、固定金利型の方が変動金利型よりも常に有利である 5.2(4.8)
4. 住宅ローンにかかる総返済額を減らすためには、頭金をできるだけ多く用意するとともに、可能な範囲で繰り上げ返済を行うのが有効である 50.8(50.9)
5. わからない 35.5(36.6)

Q31 10万円の借入れがあり、借入金利は複利で年率20%です。返済をしないと、この金利では、何年で残高は倍になるでしょうか。(1つだけ)【必須入力】

1. 2年未満 3.3(2.7)
2. 2年以上5年未満 42.0(40.6)
3. 5年以上10年未満 15.8(16.0)
4. 10年以上 2.6(2.6)
5. わからない 36.4(38.1)

Q32 あなたは、過去に1か月の生活費を超える金額のお金を運用したことがありますか。最後にお金を運用した際、最も有利と考えられる金融商品を選ぶために、他の金融機関あるいは他の金融商品と比較しましたか。(1つだけ)【必須入力】

1. 比較したうえで、資産運用を行った 17.1(15.6)
2. 比較せず、資産運用を行った 8.4(9.2)
3. 資産運用は行わなかった 74.5(75.2)

Q33 預金保険制度で1千万円まで保護される預金の種類に関する次の記述のうち、適切なものはどれでしょうか。(1つだけ)【必須入力】

1. 普通預金だけが保護される 9.3(9.7)
2. 普通預金と定期預金は保護される 40.5(42.3)
3. 普通預金、定期預金、外貨預金など全ての種類の預金が保護される 10.3(10.0)
4. 自己責任の原則から、いかなる預金も保護されない 3.7(3.5)
5. わからない 36.2(34.5)

Q34 次の金融商品を購入したことはありますか。購入した際には、商品性(※)をどの程度、理解していましたか。(1つずつ)【必須入力】(注)この設問は縦方向にお答えください。
※元本保証や手数料の有無、どんなリスクがあるか等。

	1	2	3
	株式	投資信託	外貨預金・ 外貨MMF
購入したことがある			
1. 商品性について、人に教えられるくらい詳しく理解していた →	4.3(4.0)	2.5(2.3)	2.1(2.0)
2. 商品性について、ある程度は理解していた →	20.2(20.0)	16.3(15.2)	10.8(10.9)
3. 商品性については、あまり理解していなかった →	5.6(5.5)	6.5(6.3)	3.4(3.2)
4. 商品性については、理解していなかった →	2.0(2.2)	2.0(2.0)	1.1(1.2)
購入したことはない			
5. 購入したことはない →	67.8(68.4)	72.6(74.2)	82.6(82.7)

Q35 あなたは、金融商品を選択する際の知識・情報を主にどのような機会でご得ていますか。
金融商品とは、預金、有価証券、保険などとします。(3つまで)【必須入力】

1. 金融機関の窓口での相談(販売員の説明) 24.0(22.4)
2. 金融機関においてあるパンフレット 15.9(16.2)
3. 講演会・セミナーへの参加 6.2(6.0)
4. 専門家・アドバイザーへの相談 5.5(4.7)
5. マスメディア(テレビ・ラジオ番組、新聞・雑誌等) 15.0(16.1)
6. ウェブサイト 26.8(23.7)
7. 家族・友人との会話(クチコミ) 15.0(14.5)
8. 学校(社会人向けを含む)での授業・講義 1.5(1.3)
9. その他の情報源() 1.0(0.9)
10. どこで知識・情報を取得すればいいかわからない 4.9(4.7)
11. 金融商品を選択することはない 37.9(40.9)

Q36 聞いたことがない金融商品を購入するかどうかを判断する際の行動や考え方として、適切でないものはどれでしょうか。(1つだけ)【必須入力】

1. トラブルが多発し、公的機関から注意喚起がなされていないか、情報を収集する 3.5(3.1)
2. インターネットや書籍、複数の販売業者から情報を収集し、他の商品と比較する 3.7(3.2)
3. 中立的な立場から情報提供を行っている機関等に相談し、アドバイスを受ける 3.5(3.3)
4. 販売業者から高いリターンが期待できるとの情報が得られれば、商品を購入する 60.4(59.6)
5. わからない 28.9(30.9)

Q37 複雑な仕組みの金融商品の購入を検討するにあたって、適切な対応はどれでしょうか。
(1つだけ)【必須入力】

1. 仕組みがよくわからなくても、売れ行きが良ければ購入する 1.7(1.6)
2. 仕組みがよくわからなくても、提供している金融機関が信用できれば購入する 3.4(3.1)
3. 仕組みがよくわからなくても、高いリターンが期待できれば購入する 3.5(3.3)
4. 仕組みを理解できて問題ないと思えば購入する 64.2(62.8)
5. わからない 27.2(29.3)

Q38 金融商品の契約についてトラブルが発生した際に利用する相談窓口や制度として、適切でないものはどれでしょうか。(1つだけ)【必須入力】

1. 消費生活センター 16.6(15.2)
2. 金融ADR制度 5.2(5.1)
3. 格付会社 72.2(73.7)
4. 弁護士 6.0(6.1)

Q39 在籍した学校、大学、勤務先において、生活設計や家計管理についての授業などの「金融教育」を受ける機会がありましたか。(1つだけ)【必須入力】

1. 受ける機会があったが、自分は受けなかった 1.8(1.8)
2. 受ける機会があり、自分は受けた 7.2(6.6)
3. 受ける機会はなかった 75.0(73.9)
4. わからない 16.0(17.7)

Q40 ご家庭で保護者の方から「お金の管理」について教わる機会がありましたか。(1つだけ)【必須入力】

1. 教わる機会があった 20.3(19.8)
2. 教わる機会はなかった 62.3(60.4)
3. わからない 17.4(19.8)

Q41 生活設計や家計管理等の「金融教育」は、学校で行うべきと思いますか。(1つだけ)【必須入力】

1. 思う 67.2(62.4)
2. 思わない 11.3(12.9)
3. わからない 21.5(24.7)

Q42 成年年齢が、2022年4月に20歳から18歳に引き下げられることについて、ご存知ですか。(1つだけ)【必須入力】

1. 内容を良く知っている 16.4
2. 成年年齢が20歳から18歳に引き下げられることは知っているが、それ以上詳しい内容は知らない 63.3
3. 見聞きしたことはあるが、具体的な年齢などは知らなかった 8.3
4. 成年年齢が引き下げられること自体知らない 12.0

Q43 過去3年間に「暗号資産」(いわゆる「仮想通貨」)を入手したことはありますか。入手された際には、「暗号資産」(いわゆる「仮想通貨」)のことをどの程度、理解していましたか。

(1つだけ)【必須入力】

(注1)「入手」には、「暗号資産」(いわゆる「仮想通貨」)を購入するだけでなく、いわゆる「マイニング」による入手も含まれます。

(注2)この設問は縦方向にお答えください。

入手したことがある	
1. 暗号資産(いわゆる「仮想通貨」)について、人に教えられるくらい詳しく理解していた	1.3
2. 暗号資産(いわゆる「仮想通貨」)について、ある程度は理解していた	3.3
3. 暗号資産(いわゆる「仮想通貨」)については、あまり理解していなかった	2.1
4. 暗号資産(いわゆる「仮想通貨」)については、理解していなかった	1.1
入手したことがない	
5. 入手したことがない	92.2

Q44 Q43で「入手したことがある」と回答された方に伺います。過去3年間の「暗号資産」(いわゆる「仮想通貨」)のマイニング、売買、保有に伴う、すべての費用とすべての収入(足もとの保有分の評価損益を含む。税の支払いは除く)を通算した状況について、あてはまるものを教えてください。

(1つだけ)【必須入力】

1. 利益が出た 18.3
2. 利益と損失がほぼ同じくらいだった 50.5
3. 損失が出た 31.2

Q45 あなたがそれぞれについて使う頻度を教えてください。(1つだけ)【必須入力】

(注)この設問は横方向にお答えください。

	ほぼ毎日使っている	週に1回程度は使っている	月に1回程度は使っている	ほぼ/全く使わない	そもそも保有していない
1. クレジットカード(注A)	10.2	31.5	32.0	10.0	16.2
2. デビットカード(注B)	0.9	2.4	4.6	20.0	72.1
3. 電子マネー(カード)(注C)	10.3	25.5	20.3	15.8	28.1
4. スマートフォン決済(注D)	2.1	5.9	9.5	31.5	51.0
5. 現金等(注E)	48.6	36.5	7.5	2.8	4.6

(注A)スマートフォンにクレジットカードを登録のうえアプリ決済やコンタクトレス決済(専用リーダーにかざしたりタッチして決済)をする場合はこちらには含めず、「4. スマートフォン決済」でご回答ください。

(注B)デビットカードとは、銀行など金融機関が発行するカードで、商品やサービスの購入代金を、利用者の預金口座から即時引落としにより支払うものです。スマートフォンにデビットカードを登録のうえ決済する場合はこちらには含めず、「4. スマートフォン決済」でご回答ください。

(注C) 電子マネーとは、電子的なカードを使った全ての決済手段です（交通系ICカードを含む電子的カードなど。ただし、スマートフォンを使ったものは含みません）。

(注D) スマートフォン決済とは、スマートフォンアプリやスマートフォンに埋め込まれたICチップを使って支払うことです。例えば、端末をかざすもの、QRコードやバーコードを利用するもののいずれも含みます。また、先払い、後払い、即時引落としなどお金が移動するタイミングも問いません。なお、スマートフォンにクレジットカード等を登録のうえ決済する場合もこちらに含めてください。

(注E) 現金等には、小切手も含むものとします。

（クレジットカード、デビットカード、電子マネー、スマートフォン決済のいずれかの使用頻度が月に1回より少ない方に伺います。）

Q46 あなたは前の質問で「クレジットカード」「デビットカード」「電子マネー」「スマートフォン決済」のいずれかの使用頻度は『ほぼ／全く使わない』『そもそも保有していない』とお答えになりました。これらの支払方法をあなたが使うようになるとしたら、それはどのような場合でしょうか。（3つまで）【必須入力】

1. ポイントなど特典がより大きくなる 41.0
2. 現金利用のコストや手間が増える（ATM利用料金の上昇、ATM設置台数の低下等） 11.0
3. より多くの店で使えるようになる 23.2
4. 支払いにかかる時間がより短くなる 8.7
5. 電子マネー等へのチャージ方法がもっと便利になる 13.9
6. 個人情報の管理についてもっと安心できる工夫がされる 18.5
7. 使いすぎの心配がより小さくなる工夫がされる（家計簿の自動記帳等とセットになるなど） 10.5
8. 今は店によって使える電子マネーやスマートフォン決済が異なったり、手法も沢山あり過ぎて選べないので、どれであってもどこでも使えるような「定番」サービスが出現する 16.8
9. その他 6.3
10. 現金で十分満足しており、他の決済手段を使う考えは全くない 24.5